

履修・教務、学習面について

履修に関しては最初にクラス分けテストがあり、振り分けられたクラスによって授業が決まっています。なので特に悩むことはありません。朝の8時から始まります。8時から9時半まで、30分休憩したのち10時から11時半までそれぞれ授業の合間に5分休憩をはさんで行われます。スライドを使って説明してくれたり、聞きとれなかった時などはゆっくり発音をしてくれたりと全員がついていけるようにしてくれていました。ペアワークやグループワークをしたりして話す機会が多くありました。

授業ごとに宿題もありました。量自体は多くはありませんがやっていないと次の授業のときに困ります。また宿題だけではなく、予習復習も大事になってきます。授業中にわからない単語を調べる時間があまりなく、音読しなくてはいけないときがあるので事前に調べておいたほうがいいです。

学内に図書館やカフェもあるので多くの人がそこで勉強をしていました。カフェ内は落ち着きがあり、メニューも充実していて集中できる環境でした。

大学には日本語学科の学生と交流できる機会が月に1度開かれていて、中国人と知り合えるチャンスがありました。なのでお互いに言語を教えあったりしていました。こういう場がありとてもよかったと思います。

出席点は全体のうち3分の1欠席してしまうと成績をつけてもらえなかったり、テストを受けさせてもらえません。また2回遅刻で欠席1回分になります。連絡をすれば遅刻扱いにしない先生もいましたが、ちゃんと出席しておいたほうがいいです。

テストは学期末に一度ありました。どの教科も先生が範囲を事前に知らせてくれて、終わった人から教室をいってでもいいシステムでした。内容もきちんと勉強していればそんなに難しいものでもありませんでした。

生活面について

私の住んでいた寮の6号楼は、他の2号楼や5号楼よりも部屋が広いです。それに共同キッチンも広く冷蔵庫も2台あり使いやすいです。しかし、トイレとシャワーが共同で掃除係の人が毎日掃除してくれてはいますが、トイレの流すレバーが違う方向に向いて押せなかったり、流さない人がいたりと少し汚いです。また、シャワーのほうは個室になっていて5つあるのですが、水が出なかったりお湯が出なかったりするところもありました。排水溝が詰まっていて流れなかったりもありました。

月に大体1度は断水になるのでその際はいろいろと大変なこともありました。この断水はどの寮も共通ですがでも慣れるととても過ごしやすい寮でした。

大学の周りには様々な施設があり、すぐ近くには地下鉄の駅もありとても便利でした。歩いて15分くらいの場所にスーパー、映画館、飲食店、雑貨屋、衣服店、などが入っている建物がありました。地下にスーパーがありそこでいつも買い物をしていました。基本的にレジ分ころはお金がかかるので、持参していったほうがいいです。このスーパーには食料品から日用品まで様々なものがそろっていました。中国は物価が安いのでいつもこれだけ買ってこの値段!と驚くぐらい安かったです。これはいつもご飯を食べる時も驚きました。大体どの飲食店も1食200円ほどで食べれるお店ばかりで、また量もとても多いです。近くに食べ放題のお店もあり、そこも安くいつも満席でした。ほかにも本当にたくさんの飲食店がありメニューも留学期間だけでは全部食べることができないくらい種類豊富で、毎回の食事を楽しむことができました。

中国は携帯電話でいろいろなことができ、最近日本でも普及され始めたQR決済が主流なのでわざわざ財布を持たなくても携帯だけで手軽に買い物に行ったり遊びに行ったりできました。またタオバオという通販サイトがあり、商品の数が沢山あって何でもそろっているので絶対にインストールしておいてほしいアプリです。サイトを見ているだけでも楽しいので暇な時などは時間がつぶせます。届いた商品を受け取る場所も大学内にあり便利でした。

このように近くに何でもそろっていて生活面での不便さなどは特に感じず、現地の人たちも留学生に対して優しく接してくれる人たちばかりで、快適に過ごすことができました。

費用概算

この留学にかかった留学費用総額		約	34	万円	
内訳	渡航・帰国費用（航空券）	約	91630	円	
	海外旅行傷害保険	約	61580	円	
	査証（ビザ）取得費用	約	41820	円	
	日用品	約	700	円/月 × 4	ヶ月
	食費	約	15000	円/月 × 4	ヶ月
	寮費	約	2	円/月 × 4	ヶ月
	水・光熱費	約	0	円/月 × 4	ヶ月
	インターネット	約	0	円/月 × 4	ヶ月
	利用方法 学内で利用・寮で利用・インターネットカフェ				
	複数回答可。○をつけること。				
	その他（用途： ） 万円/月 × ヶ月				
その他（用途： ） 万円/月 × ヶ月					
(医療費、教科書代、現地携帯電話代などあれば)					

滞在中の経費について

費用については、私は第2子の奨学金を借りて生活費などに当てていました。私は現金を持っていき、現地で口座を開設するときに一緒に換金してもらいました。

寮費は最初に押金として50元払い、1か月ごとに寮費の1200元を払いました。寮費やビザ申請、教科書を買うときにいる費用は現金でしか払えないので注意してください。洗濯したいときには洗濯カードが必要なのであらかじめ買っておいたほうがいいです。これは20回使えて80元です。寮費、洗濯カードは住んでいる楼の1階にある受付で買うことができます。

その他・後輩へのアドバイス

出発前（どの様な準備が必要でしたか）

自分がいつも使っている物や薬を先に予備の分まで買って準備しておきました。
また現地で証明写真が必要な場合が多数あるので、事前に証明写真を多めにとって持っておいたほうが良いです。

研修中（どの様に学習に取り組むと良いか、余暇の過ごし方）

宿題が出るのですが、それ以外にしっかりと予習復習をしておいたほうが良いです。
授業中に当てられることが多いので、わからないところにはピンインをあらかじめつけておいたほうが良いです。
休みの日にはいろいろな場所へ旅行したり他の国の人たちと遊んだりしていれば語学が身につくので部屋にこもりっぱなしより外へ出かけたほうが良いです。

研修中に困ったことはなんですか。また、どの様に対応しましたか。

自分が持って行った証明写真の数が足りなくて困ったときがありましたが、校内に写真屋があり助かりました。
旅行に行く計画をし、ホテルを探すときなどは中国のアプリだと外国人の泊まらないホテルが意外と多く予約して支払いをした後に泊まれないと気づくこともあるので泊まれるホテルかどうかをさきに確認していました。

自由記入欄（次年度以降の後輩へ向けてのメッセージなど）

コロナウイルスで留学が中止になり次年度の人がいけるかどうかとも怪しいですが、いけることを信じて勉強を続けてほしいです。うまく伝えられなくても大体はわかってくれますが、勉強している分だけより多くの人とコミュニケーションができるのでレベルも高くなりもっと楽しくなるはずです。また留学中は恥ずかしさを捨てていろいろなことに挑戦してってください。